

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 フォローアップ結果

【実施課等の情報】

課等の名称 学校施設課
対象施設等 公用車

【監査項目】

項目	判定(A~D)	監査員コメント	指摘のあった項目の改善策	提出された改善策に対する監査員コメント
(4)エネルギー使用量削減のための取組	D	事前提出のヒアリングシート監査項目(4)には、削減目標数値および取組内容の記載なし。監査当日のヒアリングにて無記載の理由を聞いたところ、1%減という目標達成は現実的には厳しいので、との回答。ただ、削減目標の数値を設定し、使用量実績やその増減理由を把握し、取組の確認や見直しに繋げることが肝要と思われる。一方、取組内容については、ヒアリングにてエコドライブや公用車の同乗使用に努めて実践しているとのこと。	学校施設は、多くの施設が老朽化が進んでおり、学校運営の維持、子どもたちの安全・安心の確保の観点から、維持保全にかかる現地確認業務は、本課において、もっとも重要な業務のひとつと考えており、現場確認時に必須となる車両の使用を制限することは難しいものと考えております。 ヒアリングでもお伝えしたとおり、車両使用時のエコドライブや相乗りの実施について、課員に周知し、ガソリン使用量の削減に努めてまいります。 また、本課の公用車は、2台とも15年以上経過しており、経年劣化による燃費の悪化についても、ガソリン使用量の増加の一因と考えており、燃費効率の高い車両への更新につきましても、財政部局に要望してまいります。	・エコドライブや相乗り推奨に向けた課内周知 ・高効率車両への更新の検討 2つとも重要な改善策と評価できます。判定「D」とした理由は、何より「項目別評価」の基準として、「率先実行計画に準じて目標がたてられ、エネルギー使用量を削減するため具体的な数値を設定して取り組まれているか」→「D…目標がたてられていない」というところにあります。やはり、削減目標の数値を把握したうえで、使用量実績やその増減理由を分析して、2つの取組につなげていくことが望まれます。
(5)課内周知	C	使用量の削減目標や実績について、現状、共有していないとのこと。エコドライブなどの取組内容も含めて、担当職員および責任者のみの把握にとどまっている印象。 節エネルギーに向けた情報共有や啓発に、多分の改善の余地を残している。今後、朝礼等を利用して、定期的に省エネルギー行動(エコドライブ10など)を実践していきたいとのこと。	同上の理由により、車両の使用を制限することは難しい状況ではございますが、車両使用時のエコドライブや相乗りの実施について、朝礼や課内会議等の機会を活用して課員に周知、啓発することで、ガソリン使用量の削減に努めてまいります。	・朝礼や課内会議等の機会を活用して課員に周知、啓発 有意義な改善策と評価できます。「継続的」で「定期的」(月1回等)な実施が望まれます。

【実施課等の情報】

課等の名称 環境事業センター
対象施設等 ①環境事業センター ②公用車

【監査項目】

項目	判定(A~D)	監査員コメント	指摘のあった項目の改善策	提出された改善策に対する監査員コメント
(2)藤沢市環境保全職員率先実行計画の認識	C	監査当日のヒアリングによれば、朝礼や課内会議では、「1%減」という目標を反復して伝えているという。ただ、環境部としては「課員等の認知度は70~80%程度」「課員等からの意見は特になし」やや寂しい状況か。職員率先実行計画については存在を認識している程度という評価に留めた。	職員率先実行計画を各グループごとに配布し、認識を強めてもらうとともに特に関連の深いエコドライブへの取組について意識するよう努める。 また、各車両の燃費は把握できているのでワースト5を公表するなど、燃費を意識した運転を意識させるきっかけとするような工夫をして行く。	・職員率先実行計画をグループごとに配布、エコドライブへの意識高揚へ繋げる ・燃費を意識した運転を意識させるきっかけとなるような工夫 2つとも具体的な提案で、大変有意義な改善策だと評価します。監査ヒアリングで伺った「課員等の認知度は70~80%程度」といった環境部としてはちょっと寂しい状況は、すぐに改善されると感じました。普段より行われている節エネルギー行動に向けた積極的な課内周知の効果も増大すると期待できます。

2020年度 藤沢市環境マネジメントシステム監査 フォローアップ結果

【実施課等の情報】

課等の名称
対象施設等

湘南大庭市民図書館
①湘南大庭市民図書館 ②公用車

【監査項目】

項目	判定(A~D)	監査員コメント	指摘のあった項目の改善策	提出された改善策に対する監査員コメント
(2)藤沢市環境保全職員率先実行計画の認識	C	事前提出のヒアリングシート監査項目(2)に記載されているように、認識しているとのこと。「こまめ」な節エネルギー行動を積極的に取り組んでいることは評価できる。ただし、監査当日のヒアリングによれば、具体的な内容への理解は十分とは言えず、職員率先実行計画については存在を認識している程度という印象。	計画の内容を理解し、率先して行動に移せるよう、改めて計画を確認し、館内会議で職員に周知します。また、個々の職員の行動や施設全体の運営管理方法が計画に沿った内容になるよう、現状把握と見直しを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 改めて計画を確認し、館内会議で職員に周知 個々の職員の行動や施設全体の運営管理方法の現状把握と見直しの実施 <p>2つとも大変有意義な改善策と評価できます。監査ヒアリングで積極的な節エネルギー行動がとられていることは確認済みなので、藤沢市環境保全職員率先実行計画の内容と具体的に照らし合わせることで、そして照らし合わせた内容を周知や見直しにつなげることが、節エネルギー行動の好循環を生んでいくと思います。</p>
(4)エネルギー使用量削減のための取組	C	率先実行計画の使用量前年度比1%の削減目標は認識している。しかし、事前提出のヒアリングシート監査項目(4)の取組内容において、「使用していない場所の消灯(電気)」「空調の温度設定(都市ガス)」「不記載(ガソリン)」とあるが、監査当日のヒアリングを踏まえても、節エネルギー行動の把握や取組内容が具体的であるという評価に至らなかった。本の管理や市民のニーズに配慮しなくてはならない特殊な事情はあるが、空調以外に電気はどこで使われているのか、エコドライブの内容は何かなどを再確認して、具体的な節エネルギー行動を進めてほしい。	施設管理を行う上で必要な機械や設備等について、エネルギーの種類や稼働状況を改めて確認し、エネルギー使用の正しい理解と把握に努めます。また、電気、ガス等使用量を毎月館内に一覧で表示するなど見える化し、使用量が通常(過年度)より多かった場合は、原因を追究し、改善策を講じるなど、職員全員の節エネルギー意識を高めます。公用車の使用についても、複数の要件を一度にまとめて対応するなど、利用回数を減らすとともに、計画に掲げられている「エコドライブ10のすすめ」を、館内会議で周知するとともに車内に表示することで、エコドライブの意識を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの種類や稼働状況を改めて確認 電気、ガス等使用量を毎月館内に一覧で表示するなどの「見える化」 「エコドライブ10のすすめ」:館内会議で周知、車内に表示 <p>3つとも、とても具体的な提案で、大変有意義な改善策だと評価します。普段の積極的な節エネルギー行動から、エネルギー使用量削減に向けて期待できる回答に感じました。</p>